

第23期第5回福岡県有明海区漁業調整委員会議事概要

1. 日 時 令和8年4月22日（水）15：00～15：41
2. 場 所 福岡県有明海水産会館（柳川市三橋町高畑 271）
3. 出席者 福岡県有明海区漁業調整委員会 委員 10名
4. 臨席者 福岡県農林水産部水産局漁業管理課 2名
福岡県農林水産部水産局水産振興課 2名
福岡県水産海洋技術センター有明海研究所 1名
福岡県有明海区漁業調整委員会事務局 2名
福岡有明海漁業協同組合連合会 2名
5. 議題及び議決内容
 - (1) 福岡県有明海区における知事許可漁業の新規許可に係る制限措置等の公示について（諮問） 資料1
(説明)
漁業管理課から資料1に基づき説明がなされた。
(主な質疑や意見)
特になし
(審議結果)
原案のとおり定めることが適当であると答申することを決定した。
 - (2) 福岡県資源管理方針の一部改正について（諮問） 資料2
(説明)
水産振興課から資料2に基づき説明がなされた。
(主な質疑や意見)
委員：くろまぐろの資源は減少しているのか。
水産振興課：減っておらず、福岡県は漁獲枠に対してそれなりに漁獲している状況。
(審議結果)
原案のとおり定めることが適当であると答申することを決定した。
 - (3) 第385回福岡佐賀有明海連合会区漁業調整委員会について（報告） 資料3
(説明)
事務局から資料3に基づき説明がなされた。
(主な質疑や意見)
特になし

(4) 第47回日本海・九州西広域漁業調整委員会について (報告) 資料4
(説明)

事務局から資料4に基づき説明がなされた。

(主な質疑や意見)

委員：近年ガザミの漁獲量が減っているが、要因を教えてほしい。

有明海研究所：何か一つの要因によるものではないと思うが、ここ数年、7～9月の水温が非常に高いことも原因となっている可能性がある。

(5) ノリ養殖の概況について (報告) 資料5
(説明)

有明海研究所から資料5に基づき説明がなされた。

(主な質疑や意見)

委員：今後の養殖スケジュールに関して、水温の影響に対応できることがあるのではないか。

有明海研究所：それについては、漁連と協力して取り組んでいきたい。